

友渕小学校

(本校)		(分校)	
所在地	〒534-0016 都島区友渕町 1 - 3 - 123	所在地	〒534-0016 都島区友渕町 1 - 3 - 187
電 話	06-6921-3700	電 話	06-6921-2011
F A X	06-6925-3968	F A X	06-6921-4200
H P	http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e521038 ※「大阪市立友渕小学校」で検索してください。		
校長名	新 健太郎	その他	標準服有り



本校は、昭和56年に創立され、令和2年には40周年を迎えるなど、成り立ちから現在に至るまで、着実に歩みを刻んできました。マンションの建設が進み、1500名以上の児童が在籍しており、大阪市内では珍しく、本校・分校がある学校です。1・2年生が分校、3～6年生が本校で学習しています。子どもたちは明るく、元気いっぱい学習や運動に励んでいます。

教育目標に「自ら学びよく考える子」「豊かな心をもち仲よくする子」「健康でたくましい子」を掲げ、知・徳・体のバランスのとれた人材の育成を目指しています。地域の方々にはあたたかく子どもたちを見守ってくださっており、保護者・地域・教職員が手を携えて、子どもたちを健やかに育てています。

校長 新 健太郎

● 「運営に関する計画」の概要

【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】

- 令和6年度の校内調査において、「学校の決まりやルールを守って安全に過ごすことができているか」の項目において肯定的な回答95%以上を維持する。
- 令和6年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を80%以上にする。
- 令和6年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を令和5年度より減少させる。
- 令和6年度末の校内調査の「自分には良いところがあると思いますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合の80%を維持する。

【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における「学級の友達とで話しかける活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を46%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を75%以上にする。

【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、児童の8割以上が学習端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする〔ただし、事務局が定める学校行事等のICT活用が適さない日数を除く〕
- 学習者用端末を活用した学習を行った上で、学習者用端末を活用した家庭学習を1年生は2学期より、2～6年生は5月より週2回以上実施し、学級担任に向けた校内アンケートにおける「学習者用端末を活用した家庭学習を週2回以上実施できていますか」の項目について、肯定的に答える割合を70%以上にする。
- 「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準2を満たす教員の割合を90%以上にする。
- 令和6年度の小学校学力経年調査における「読書は好きですか」の項目に対して、肯定的な回答する児童の割合を80%以上にする。

● 学力の状況と学力向上に向けた取組

令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果

○平均正答率(%)

国語	算数
74	71

○結果の概要

国語、算数ともに、全国平均正答率を5ポイント以上超える結果となった。また、どの領域でも全国平均を上回ったが、特に、国語は「話すこと・聞くこと」「読むこと」、算数は「数と計算」「変化と関係」「データの活用」の結果が、全国平均を大きく上回った。

取組の成果と課題、アクションプラン

知識・理解を深める授業を中心にやっていること、自主学習が定着していること、家庭での支援が充実されていることから、知識量や理解力は豊富になっている。しかし、その知識をどのように活用させていくかが課題である。

自分の考えの根拠や理由を明確にして、説明したり書いたりすることができるように様々な学習形態を多く取り入れ、授業の充実を図る。また、体験して学ぶ活動や生活場面に直結するような学習を多く取り入れるなど、日ごろの学習の活用方法を確立させる。さらに、自分の意見を発表する場の設定や子ども同士でも認め合う機会を多く設け、協働学習支援ツールをさらに活用しながら、人と関わり合いながら学ぶことで自己肯定感を高めていきたい。

● 体力の状況と体力向上に向けた取組

令和5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果

○種目別平均値

	握力	上 起 こ し	体 長 座 前 屈	反 復 横 と び	20m シャトルラン	50m走	立 幅 と び	ソフトボール 投 げ	体 力 合 計 点
男子	14.22	21.52	30.38	33.43	43.20	9.50	144.62	20.94	49.33
女子	14.40	19.18	35.61	31.32	31.76	9.74	141.16	12.18	50.66

○結果の概要

男子・女子ともに体力合計点が全国・大阪市平均を下回った。男子・女子ともに、「握力」「反復横とび」の2種目の得点が低かった。

質問事項「運動やスポーツをすることは好きですか」に、「好き」「やや好き」と肯定的に回答した男子は95.7%、女子は85.2%だった。

取組の成果と課題、アクションプラン

今年度、体育科の授業では、様々な場の設定から、自分の学習の課題を選び練習に取り組む授業を実施した。児童一人ひとりが課題を選ぶことで自分の力で達成できたことに喜びや達成感を得られる様子が多くみられた。成功体験が積み重なっていくことで子どもたちの意欲につながっている。また毎時間の学習で成果と課題を振り返ることにより、自分の達成度を確認することができるだけでなく、次時への目標設定ができるようにしている。

質問項目「運動が好きですか」の回答状況では、「好き」「やや好き」と回答した割合は、男子は95.7%（前年度93.2%）、女子は85.2%（前年度84.7%）で、8割以上の児童が肯定的な回答をしている。今後も引き続き児童が運動への興味・関心をもち、意欲が高まる体育科の指導内容を工夫する。さらに、全校で取り組んでいる「なわとび週間」と「かけあしタイム」では、自己の成果を記録にしているため、目標をもって取り組む必要がある。

● 土曜授業等の内容

※状況により日程変更や中止する場合があります

6月8日（土）土曜授業 引き渡し訓練
10月5日（土）土曜授業 作品展

【学力と体力の状況調査については16ページに全国・大阪市平均を掲載。ご参照ください。】



大阪市立友渕小学校

学校教育目標

健康で

たくましい子

自ら学び

よく考える子

豊

かな心を持ち

仲よくする子

1 本校・分校という環境を生かした教育活動

全国でも有数の児童数を有する過大規模校です。本校（3～6年）と分校（1～2年）に分かれています。普段は、別々の校舎で過ごしている分だけ1年生を迎える会や運動会、卒業生を送る会など、高学年と低学年とが交流する機会をととても大切にしています。代表委員が中心となって運営を進め、楽しく思い出に残るものになるよう工夫をこらしています。



2 多彩なクラブ・委員会活動

クラブや委員会も様々な活動を行っています。クラブ活動は、陸上／運動・サッカー・ソフトボール・ドッジボール・テニス・バスケットボール・バドミントン・文学・工作・折り紙・ぬり絵・習字・室内遊び・ダンス・音楽・卓球・科学・マンガ／イラスト・手芸・合唱・百人一首・タブレットと22種類あります。委員会活動も、集会・運動・放送・栽培・環境・保健・給食・図書・新聞・掲示・生活・美化の12種類と代表委員会が別にあります。



3 PTA・地域の強力なバックアップ

PTAや地域の惜しみない支えがあるのも友渕小学校の特徴です。毎朝、子どもたちの安全・安心な登下校のため、PTAによる朝の交通立ち番活動や地域の方々による見守り隊活動が行われています。



学校図書ボランティア「よむとも」さんは、週2回昼休みの図書館開放や学校図書館の整備、充実に協力していただいています。



また、本校の正門右手にある美しいPTA花壇を見てもわかるように、PTAの様々な委員会でも積極的に子どもたちのために活動してくださっています。

今後も地域・保護者とともに歩む学校運営を目指します。